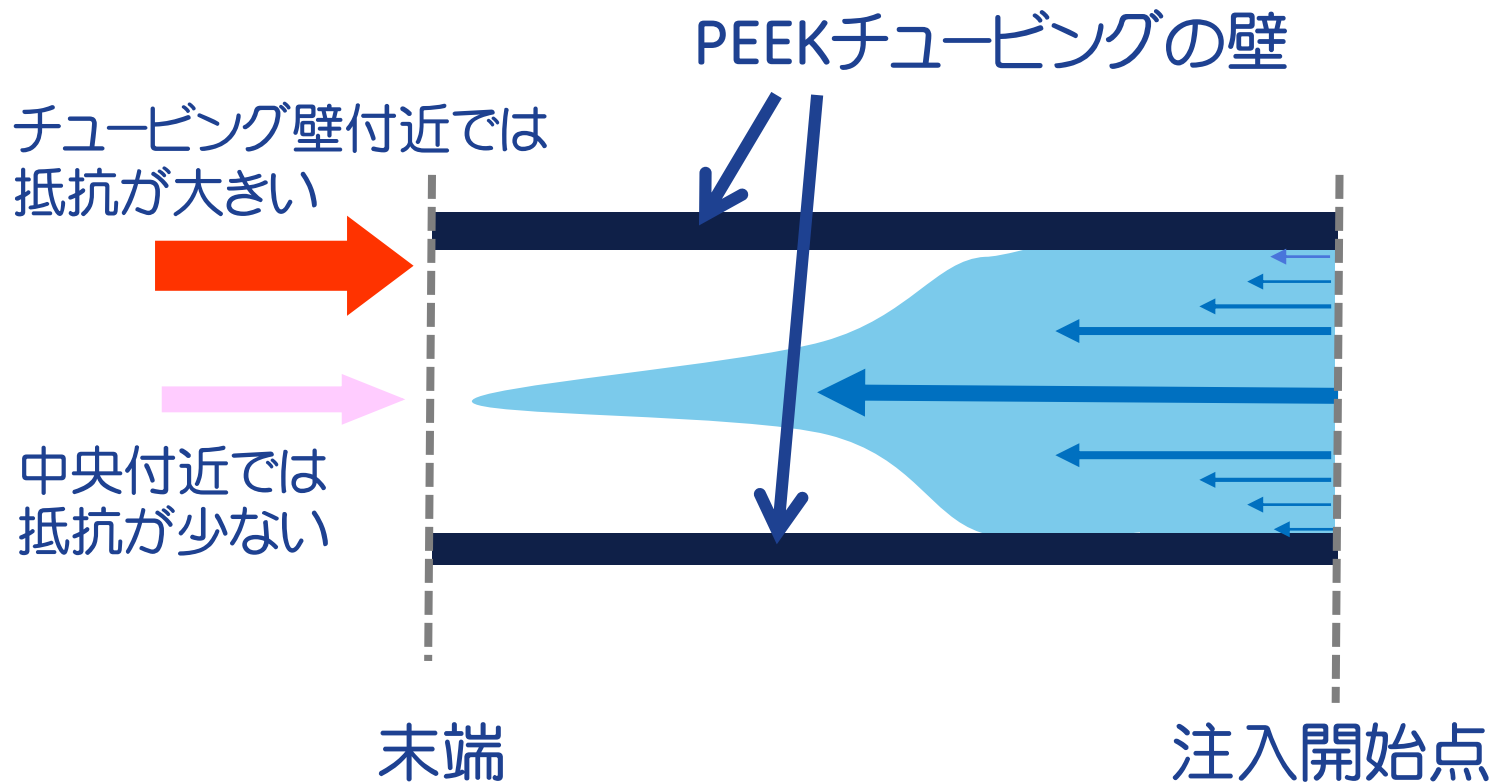
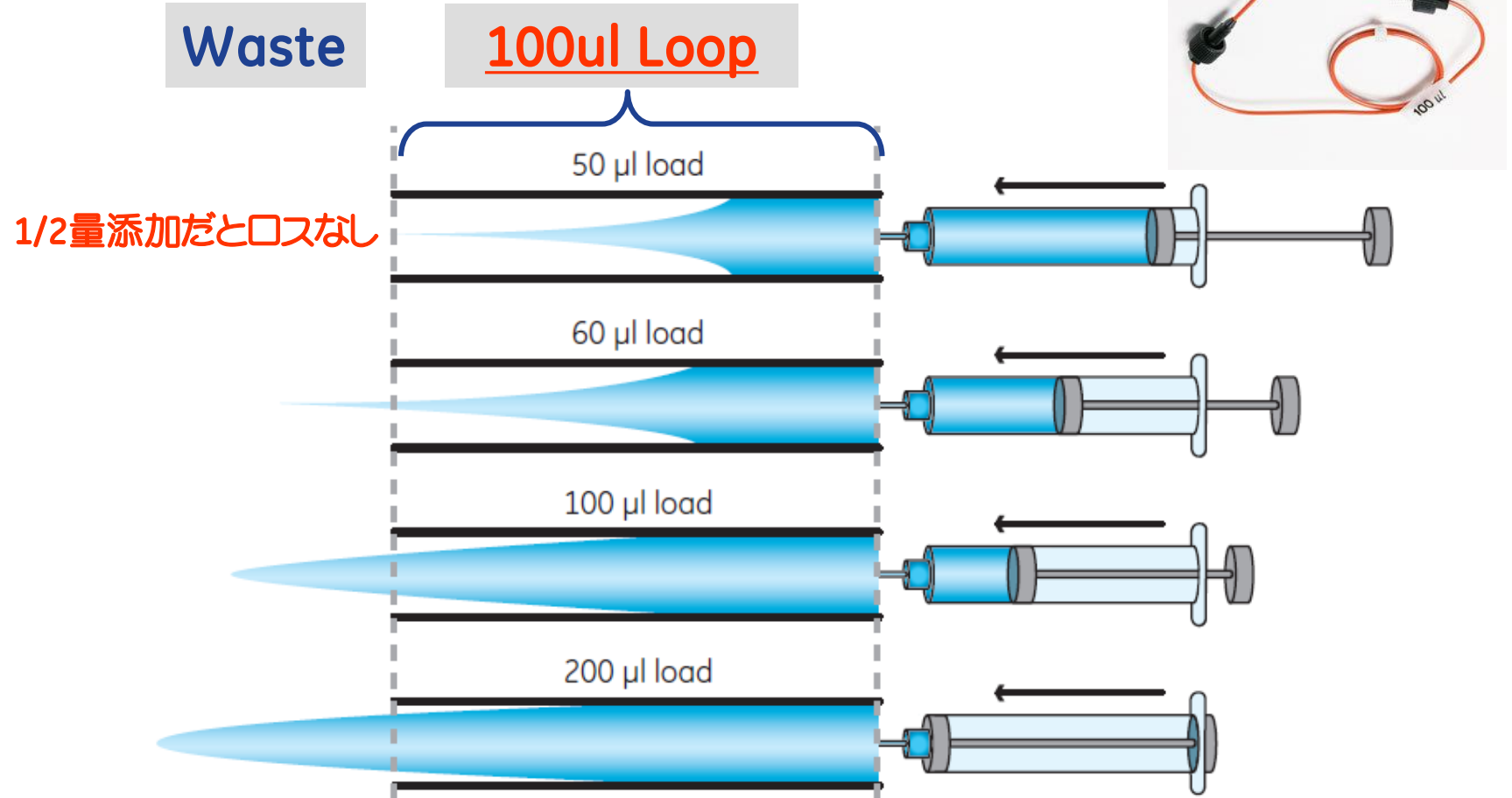


PEEKチュービング中の溶液の流れ方



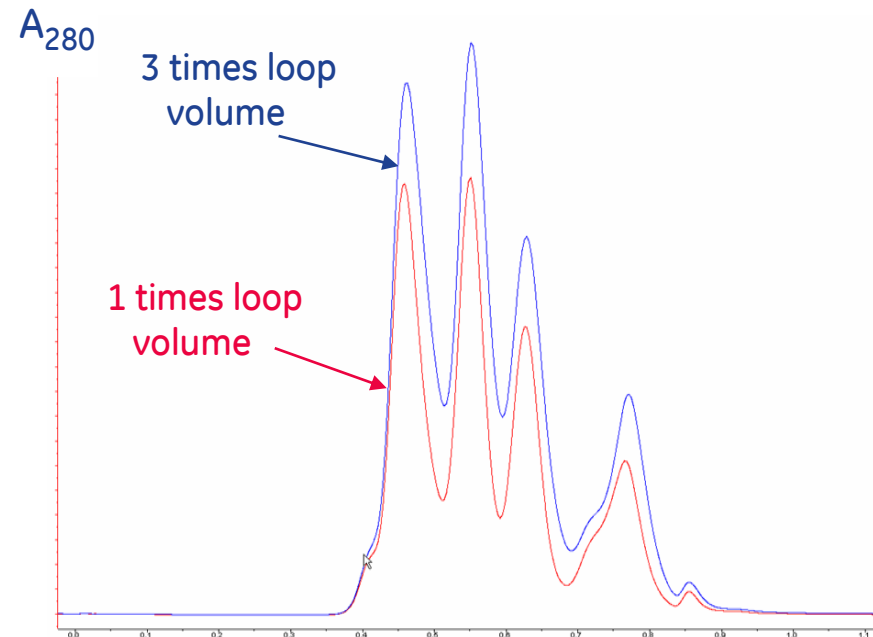
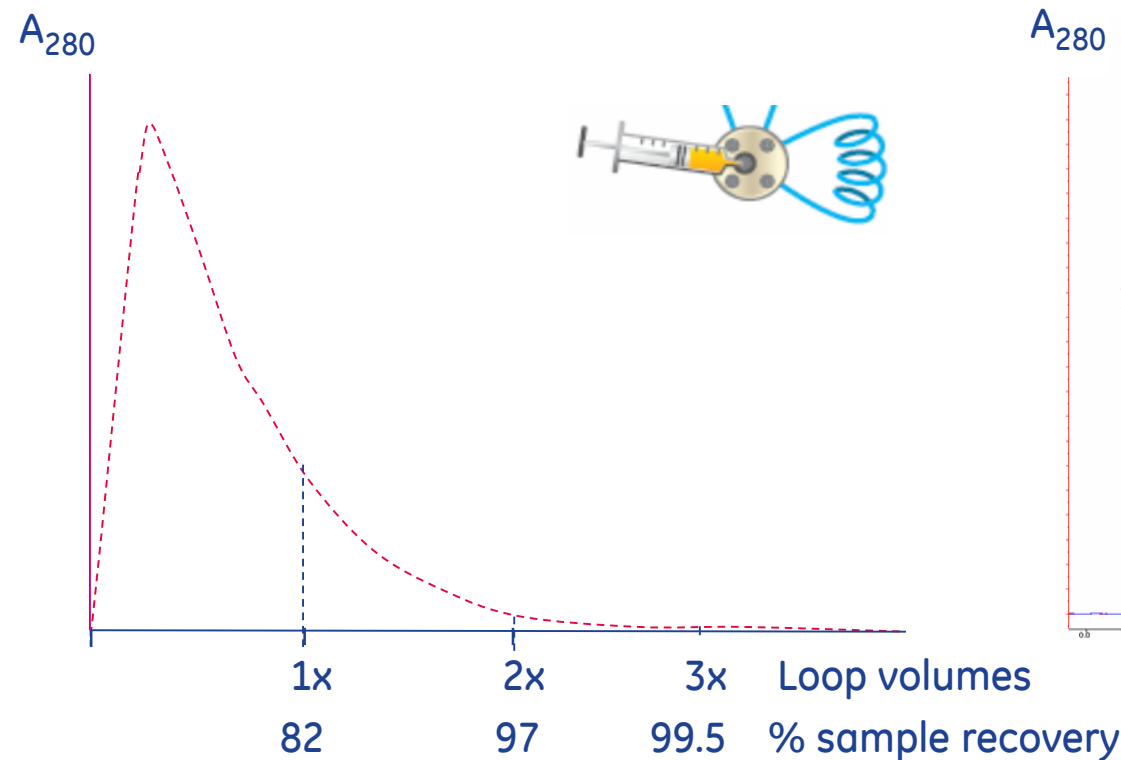
チュービングの中央ほど先に進み、管壁付近は遅れる

サンプルループへサンプルを打つ時には？



- 部分充填= ループ体積の1/2までの充填でロス回避
- 完全充填= ループ体積の3倍以上の充填で完全に満たされる

ループ中のサンプルをカラムに押し出す バッファ量は?



ロスせず打ち込むには、ループ体積の3倍以上のバッファでサンプルを押し出す必要あり

(配管径により前後する可能性がある)

サンプルループへの部分充填のやり方 (AKTAexplorer, AKTApurifier, AKTAFPLC)

・一部充填

サンプルがサンプルループのボリュームより少ない場合や、サンプルロスを最小に抑えたい時は一部充填を使用します。

1. インジェクションバルブのポジションが**LOAD**であることを確認します。
2. シリンジにサンプルループの5倍以上のバッファーを入れます。
3. シリンジでサンプルループにバッファーを充填します。シリンジは差したままにします。

注：インジェクションバルブのポジション**Load**のままシリンジを抜くと、バッファーが抜けエアがサンプルループに入る恐れがあります。

4. **Manual** ↓ **Flowpath** → **Injection Valve** → **Inject Execute**をクリックします。
5. シリンジをインジェクションフィルポートから抜きます。
6. シリンジにサンプルを入れます。
7. シリンジをインジェクションバルブのインジェクションフィルポートに差します。
8. **Manual** ↓ **Flowpath** → **Injection Valve** → **Load Execute**をクリックします。
9. シリンジのサンプルを静かにサンプルループに充填します。
10. シリンジをインジェクションフィルポートに差したままにしておきます。